



守口小だより

令和3年10月27日

第16号

守口市立守口小学校

発行者 横山 美香

教育目標：自ら学ぶ意欲にあふれ、共に高め合い、心豊かで未来を切り拓く子どもの育成

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

○令和3年5月27日（木）に6年生を対象に実施されました。

本校の結果の概要についてお知らせいたします。



調査概要

※本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

1. 調査の目的
 - 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - 以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
2. 調査の対象
 - 小学校及び義務教育学校前期課程 第6学年
3. 調査の内容
 - 教科に関する調査 国語，算数
 - 質問紙調査 児童の学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査

教科に関する調査より



＜国語＞

本校の平均正答率は、64.0％でした。（守口市 57.8％ 大阪府 63.2％ 全国 64.7％）

大問の3の無回答率が全国や府よりも高いです。質問紙の「解答時間は十分でしたか（国語）」の「時間が余った」と「ちょうどよかった」の回答が60％でした。約40％の児童が、「時間が足りなかった」と回答しています。

問題の結果分析

- 【話すこと・聞くこと】では、80％以上の正答率で、学力はおおむね定着しています。
- 【言葉の特徴や使い方に関する事項】の「思考に関わる語句の使い方を理解し、語や文章の中で使う」の正答率は約88％でよくできています。
- 【言葉の特徴や使い方に関する事項】に課題が見られます。「学年別漢字配当表に示されている漢字を分の中で正しく使う」の正答率が全国よりも低く、また、無回答率も全国よりも高く課題が見られます。
- 【読むこと】では、「目的に応じ、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける」「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」の「記述式」の正答率が40％以下で、課題が見られます。

<< 算数 >>

本校の平均正答率は、70.0% でした。(守口市 65.4% 大阪府 69.7% 全国 70.2%)
 無回答率は、全国とほぼ同じでした。質問紙の「解答時間は十分でしたか(算数)」の「時間が余った」と「ちょうどよかった」の回答が87%でした。

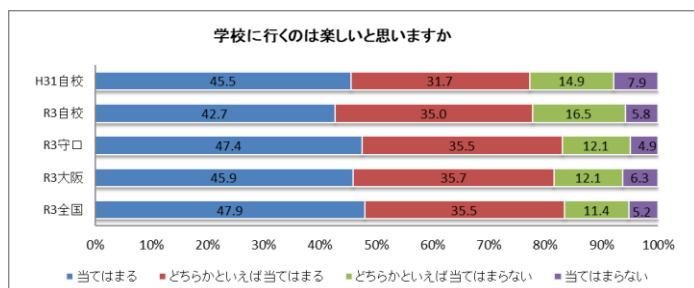
問題の結果分析

- 【測定】と【変化と関係】と【データの活用】については約75%の正答率で学力は、おおむね定着しています。
- 【測定】の「条件に合う時刻を求める」の正答率は約96%でよくできています。
- 【データの活用】の「棒グラフから、数量を読み取る」や「棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる」は90%以上の正答率でよくできています。
- 【図形】の「三角形の面積の求め方について理解している」の正答率が約43%で全国よりも12ポイント低く、課題が見られます。
- 【データ活用】の「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」は約41%の正答率で課題が見られます。
- 【数と計算】の「小数を用いた倍数について説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数にあたる理由を記述できる」の正答率が約44%で課題が見られます。

児童質問紙調査より

<< 学校・勉強について >>

上から1段目:本校の平成31年度、2段目:本校の令和3年度、
 3段目:守口市、4段目大阪府、5段目全国の結果です。

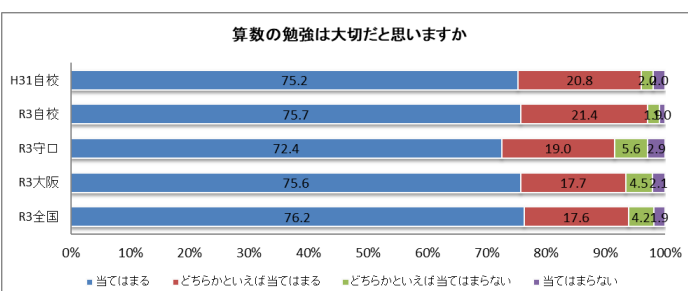
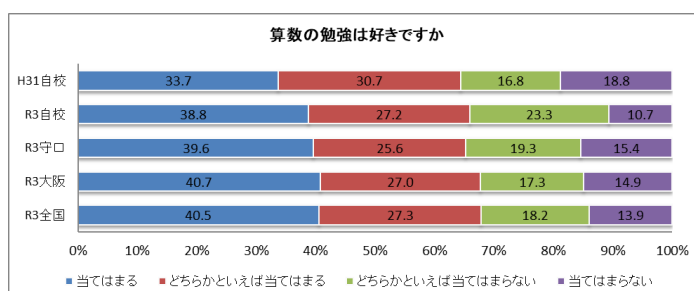
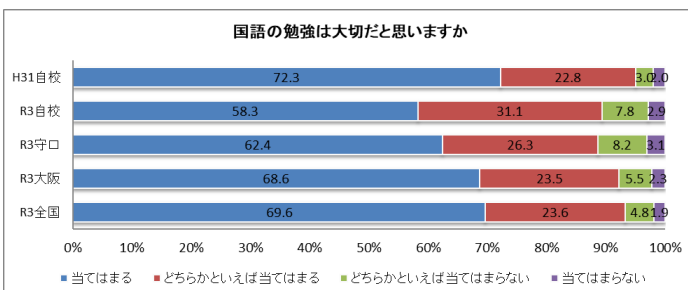
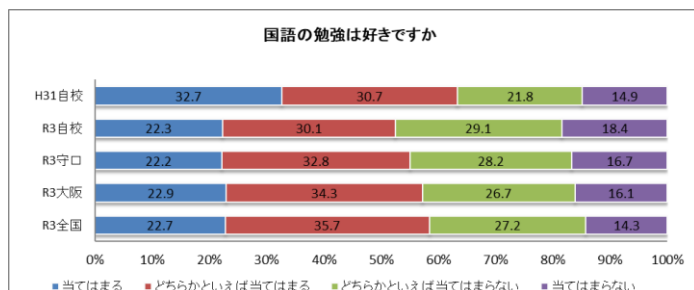


○約90%以上の児童が、国語や算数の勉強は大切だと思っています。

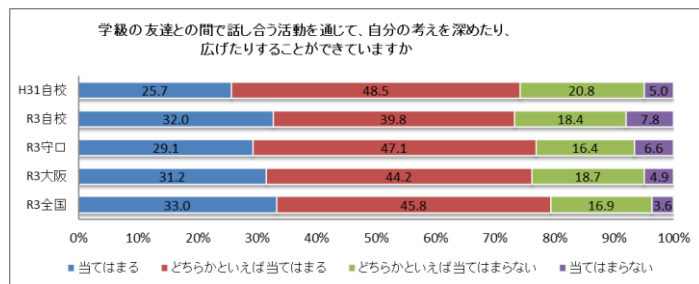
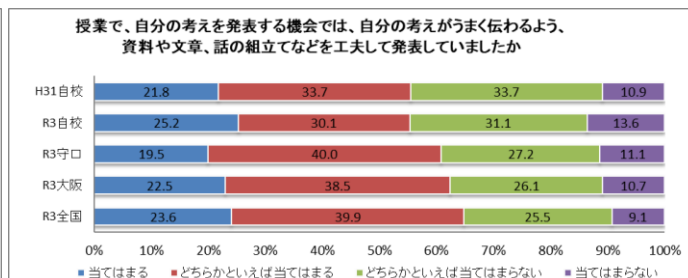
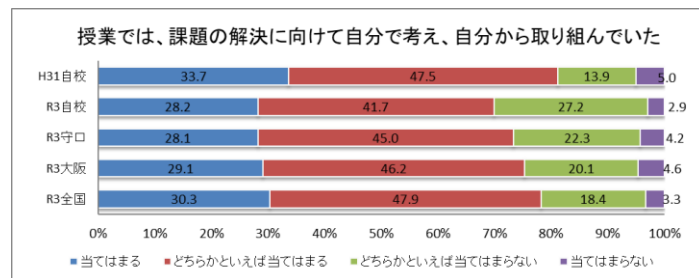
○算数の勉強が好きな児童の割合は、全国等とほぼ同じです。

●「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答が、77.7%で、全国や大阪府、守口市は80%を超えていますが、本校は低い傾向です。

●国語の勉強が好きな児童の割合は、全国等と比べ低い傾向です。



《学習に対する意識について》

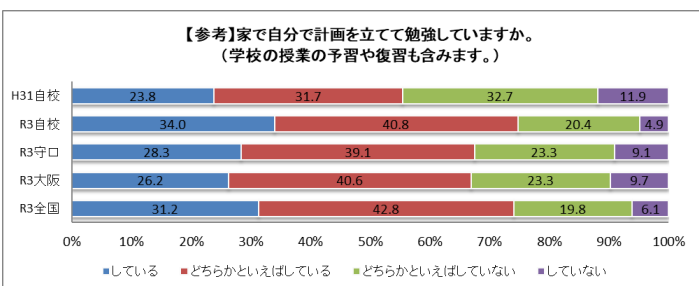


- 「授業への課題解決に向けた取り組み」や「話し合い活動」については、約70%の児童が肯定的回答をしています。
- 「工夫して発表する」については、肯定的回答が55.3%で全国等よりも低く、課題が見られます。

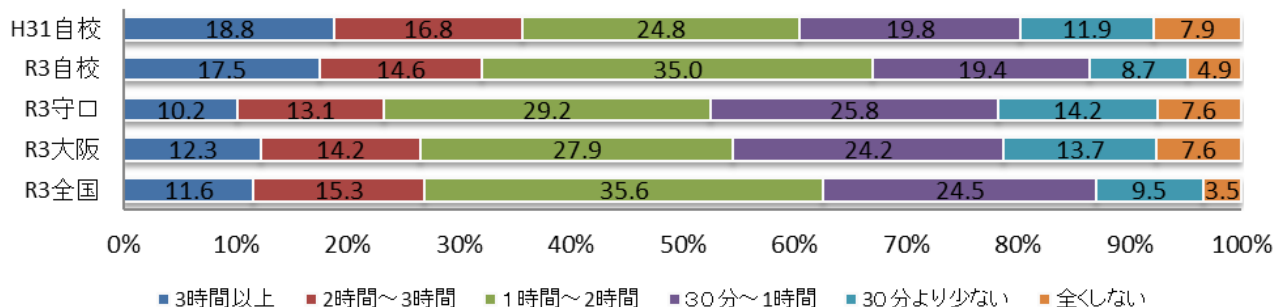
《家庭学習・読書習慣について》



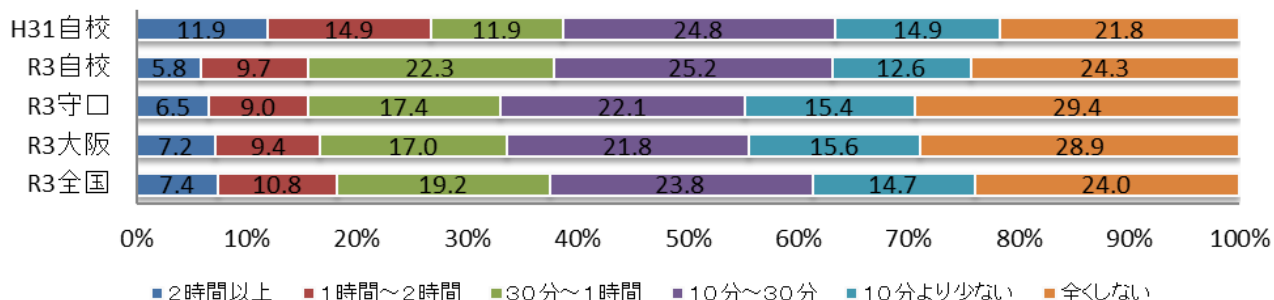
- 「計画を立てて勉強する」については、74.8%の児童が肯定的回答をしていて、全国と同じくらいです。
- 「1日当たりの勉強」で30分以上と回答している児童は、86.5%で、「1日当たりの読書」で10分以上と回答している児童は、63%で、全国と同じくらいです。



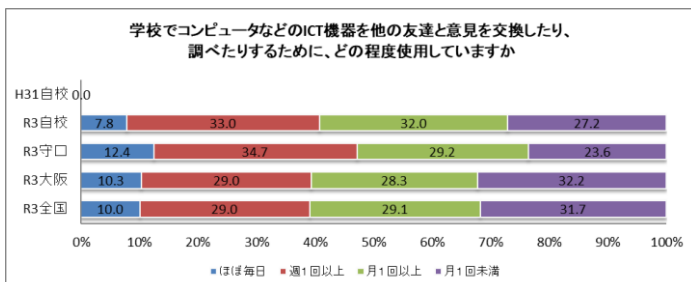
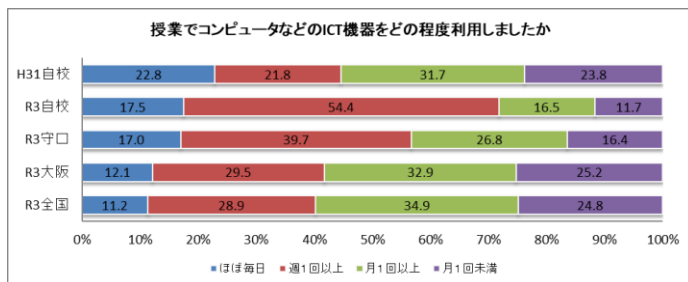
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



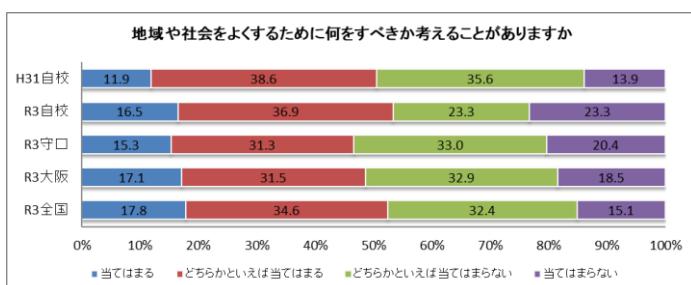
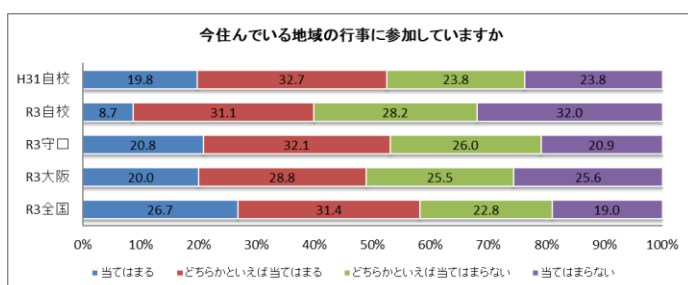
「ICT の活用について」



- 「ICT 機器をほぼ毎日利用している」割合が、17.5%で全国や大阪府と比べると高いです。
- 「ICT 機器で意見交換したり、調べたりするために毎日使用している」の割合が7.8%で、全国や守口市と比べて低くなっています。

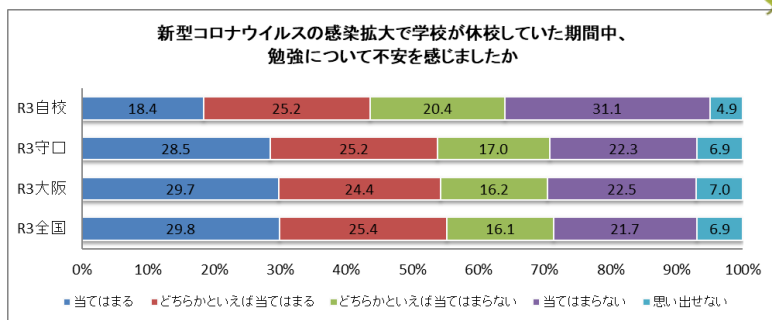


「地域との関わりについて」



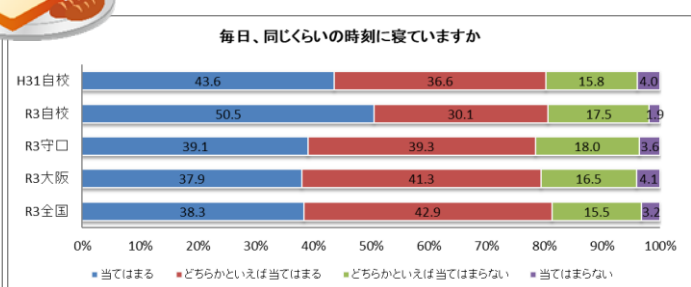
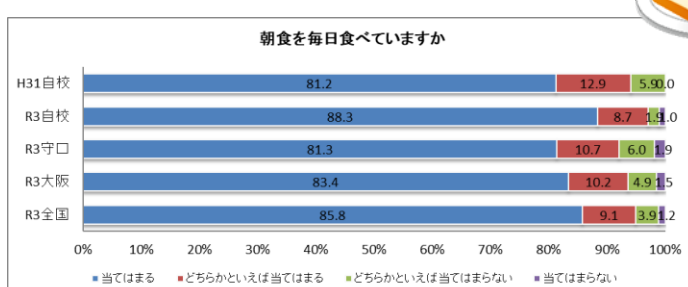
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」の肯定的回答をしている割合が53.4%で、全国等と比べて高くなっています。
- コロナウイルス感染症の影響で行事がなかったこともあり、「地域の行事に参加しているか」の肯定的回答が39.8%と低くなっています。

「コロナ禍の影響について」



- 休校期間中、勉強について、「不安を感じていない」と「あまり不安を感じていない」と回答した児童の割合が51.5%で、全国等の約40%と比べると、高くなっています。

「生活習慣について」



- 「朝食を毎日食べている」児童の肯定的回答が、97%で全国等よりも高くなっています。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の肯定的回答が80.6%で、全国等とほぼ同じです。